

市報 やまぐち



No. 781

昭和55年

2月1日

樂 燒 講 座

親子で ねんど細工

児童文化センター



「これ、形がおかしいかな」「だんだん、形がゆがんだよ」。こんな会話がとびかいながらねんどで花びんや飾皿、湯のみができるいます。

これは一月二十日行われた市児童文化センターの親子の楽焼講座、紙にデッサンしたものが親子の協力ででき上り、二月十七日にかまに入れて焼きます。

新築の市営住宅 入居者を募集

- 部屋 月額約三千円の浄化槽の維持管理費を含み二万五千円の見込み
- 入居資格 市内に住所か、勤務場所があり、年間収入が夫婦と子供二人の場合、二百四十万円以下などの所得制限にかかるない人
- 戸数 二十戸
- 問い合わせ 市役所建築課電二一四一一一内線三〇四へ

二月一日に農林業の「国勢調査」

「世界農林業センサス」実施

二月一日現在で、全国いっせいに「世界農林業センサス」が行われます。

この調査は農業と林業を営む全部の農家と林家などを対象とした、いわば農林業の国勢調査といわれるもので、農林業の施策の推進や国際比較に用いられる大切な資料となるものです。該当農家、林家には、調査員がうかがい、経営状況などをおたずねしますので、ご協力をお願いします。

市では、現在、宮野下恋路に建設中で、三月完成予定の鉄筋コンクリート造り五階建ての第二種市営住宅の入居者を次のとおり募集します。

二月十二日～十五日、午前九時から午後四時まで、市役所建築課（三階）で所定の申込み用紙は、市役所受付、建築課に備え付け



城壁にかかるパンプローナ市の中心
市街地（同市の要覧から）

昨年来、協議がすすめられていた山口市とスペイン国・ナバラ県パンプローナ市との姉妹都市提携の協議がととのい、この調印のため、堀泰夫山口市長を団長とする調印使節団が二月十五日、日本を出

山口市とスペイン国・ナバラ県パンプローナ市との姉妹都市提携の協議がととのい、この調印のため、堀泰夫山口市長を団長とする調印使節団が二月十五日、日本を出

使節団十五日に出発

山口市 パンプローナ市

昨年から協議が進められていましたスペイン国・パンプローナ市と山口市の姉妹都市の盟約の協議が整いこの調印のため、二月十五日代表団が出発します。これで市制施行五十周年の記念すべき年に発議された国際交流の糸口ができ、これから両市民間の文化・教育・産業などの交流が始まろうとしています。このため、スペイン国とパンプローナ市の概要と、ルーナ神父にきいた「スペインの生活」を紹介します。

市議会議長夫妻、八木山口商工会議所会頭夫妻ら十七人で、十五日日本を出発、二十四日帰国の予定で、パンプローナ市には三日間滞在、盟約書への調印や、交流の話合い、山口市の紹介などをします。

合意した盟約書は、両市が「文化、教育、観光、産業、その他各分野で交流し、両市間の友情と理解を深め、親善を図る」というもので。

今後の交流案として両市の映画・パンフレットの交換、行政制度資料交換、子供の作品の交換、学生などの民間各層の交流、民芸、古典芸能の交流などが考えられています。

スペインは、ヨーロッパ大陸の西南端の国、イベリア半島の大半を占める国で、東南を地中海、北をカントブリア海、フランス、西をポルトガルに接した国です。

国土面積は、日本の約一・三倍で、国のはほぼ中央にある首都マドリード（人口三百五十万人）の緯度が四十度余ですから、日本の東北地方にあたり、概して夏は暑さがきびしく乾燥し冬は寒い気候です。

農耕地は、国土の約四十%その六十%を穀物生産にあてられ、ほかを世界第二の生産量のオレンジ、同第三位のオリーブなどがあります。

ヨーロッパの国々の中で一番最初に統一国家ができた国であることがわからるように、非常に歴史の遺物がたくさんある国で紀元前千五百年頃の遺跡もあります。

西班牙は中世に栄えたナバーラ王国（九〇五～一二一）の首都であったところで、王国時代の石垣が廻所に残り、同市の市勢要覽には「二千年の歴史を持つまち」と記されています。

人口は約十七万人、まちの北部を流れるアルガ川にのぞむ標高四百五十層の丘陵地にひらけたまちで、名曲「チゴイネルワイゼン」を残したサラサーテ生んだ町としても知られています。

この国の政治形体は、ファン・カルロス一世を国王とした立憲君主制国家です。

まちは、旧市街地と周囲にひろがる新市街地とに分けられ、旧市街地には十四世紀の建物大聖堂に象徴される中世の建物がたくさんあり、まちの雰囲気をつくっています。

パンプローナ市を世界的有名にしたものは「牛追い祭サン・フェルミンの祭り」の1場面

2000年の歴史

静かでゆとりのあるパンプローナ市

合意した盟約書は、両市が「文化、教育、観光、産業、その他各分野で交流し、両市間の友情と理解を深め、親善を図る」というもので。

今後の交流案として両市の映画・パンフレットの交換、行政制度資料交換、子供の作品の交換、学生などの民間各層の交流、民芸、古典芸能の交流などが考えられています。

ヨーロッパの国々の中で一番最初に統一国家ができた国であることがわからるように、非常に歴史の遺物がたくさんある国で紀元前千五百年頃の遺跡もあります。

西班牙は中世に栄えたナバーラ王国（九〇五～一二一）の首都であったところで、王国時代の石垣が廻所に残り、同市の市勢要覽には「二千年の歴史を持つまち」と記されています。

人口は約十七万人、まちの北部を流れるアルガ川にのぞむ標高四百五十層の丘陵地にひらけたまちで、名曲「チゴイネルワイゼン」を残したサラサーテ生んだ町としても知られています。

この国の政治形体は、ファン・カルロス一世を国王とした立憲君主制国家です。

まちは、旧市街地と周囲にひろがる新市街地とに分けられ、旧市街地には十四世紀の建物大聖堂に象徴される中世の建物がたくさんあり、まちの雰囲気をつくっています。

パンプローナ市を世界的有名にしたものは「牛追い祭サン・フェルミンの祭り」の1場面



サン・フェルミンの祭りの1場面

スペインの首都マドリッドから北東へ約四百四十キロ余り、スペインとフランスの国境となっているピレネー山脈のふもとにあるのが、ナバーラ県の県庁所在地・パンプローナ市です。

面積は約二千六百平方キロで、菱形をした市域のはば中央部に

あるのが、ナバーラ県の県庁所在地・パンプローナ市です。

約五十キロのところに、山口市に

もゆかりの深いフランス・

サビエルの出生地、サビエル村

があり、彼の生まれ育った十六世紀建立のサビエル城が残って

います。

このパンプローナ市から東へ

約五十キロのところに、山口市に

新しい 出発



古熊神社拝殿は、室町時代の楼門造りの様式をよく伝えている建物で、昭和24年に国から重要文化財に指定されています。近く、この拝殿は、解体修理される計画です。

埋れた人間の過去の足跡を明らかにし、残された貴重な文化的遺産を後世に伝えるのが、文化財愛護の目的です。

市内の文化財の現況・保存事業を紹介し、その愛護を考えてみましょう。

現在、市内唯一の国宝となつてゐる「瑞光寺五重塔」に代表

して、近世には明治維新の策源地として、歴史の舞台となつたことから、県内の約十五割を占める九十五件に及ぶ指定文化財があります。その内訳は、国指定が二十九件、県指定が三十八件、市指定が二十三件、重要美術品は五件あり、特に建造物は、県下の指定建造物の半数を占めています。

埋蔵文化財包蔵地

地下に埋れている文化財、たとえば、城跡・経塚・遺物包含地・埋葬跡・館跡・窯跡・社寺跡・産業交通関係の遺跡などは

- ▽ 古熊神社拝殿の解体・修理
- ▽ 瑞光寺五重塔の屋根ふき替
- ▽ 同五重塔防災施設の新設
- ▽ 大内氏遺跡の発掘調査
- ▽ 同遺跡の保存管理計画の策定
- ▽ 龍藏寺収蔵庫の建設
- ▽ 歴史民俗資料館の建設



文化財愛護シンボルマーク

ひらを三つ重ねることにより、文化財を過去・現在・未来にわたり伝承していく精神を象徴

びとの目をたのしませ、心をなごませてくれます。
赤松が山口県の県木に選ばれたのも、このような美しい姿からのことでしょう。

近頃マツクイムシによる被害が、ここにも目立ってきましたが、県木赤松のためにもその予防に十分心掛けなければならぬことです。

テ一マ 文化財愛護

古い歴史を誇る山口市は、有数な文化財保有県といわれる山口県にあって、質・量とも県下屈指の文化財保有市です。

中でも、建造物・史跡が多いのが、山口市文化財の特色で、古代の陶窯跡・大内文化遺産から大村益次郎墓地のように明治の初めのものまで、数多くのものが残されて

います。
これには、山口市は古来大きな災害が多く、また戦災も全く受けなかったという理由もあげられます。

市内は文化財の宝庫 人類の尊い文化遺産

県内の約十五割を占める 指定文化財 九十五件

県内の約十五割を占める

指定文化財 九十五件

文化財の保存と修復

文化財の保存と修復

市民、ひいては国民の貴重な財産である文化財の保存のため

山口市は、早くから大陸文化の影響を受け、中世には西の京といわれた大内文化の本拠地と

たった赤松林（写真）で、老樹の風格を備えた真すぐに伸びた赤い幹深い緑の葉をつけた端正な枝は、そのまま日本画の美です。この赤松は、晴の日、雨の日、雪の日、かすみに、霧に、近くを通る人

やまぐち 357

自然

姫山の赤松

哀しい伝説を秘めた姫山は

その名のようなどちらから見ても姿がよく、山口の名山の一つです。

この姫山の北側は、時代の

たつ赤松林（写真）で、老

樹の風格を備えた真すぐに伸

びた赤い幹深い緑の葉をつ

けた端正な枝は、そのまま日

本画の美です。この赤松は、

晴の日、雨の日、雪の日、か

すみに、霧に、近くを通る人

を残したいという気持から、ふるさとの祭り、山口天神や

「忘れられてゆく良いもの

を見つけて、それを守るために、この二年間で山口の町々を二百数十枚もスケッチされました。旧街道・路地裏・老舗（しにせ）など、氣ずかぬ内に全く変ってしまっていることが多いが、これらのものも

徳見さんの愛情のこもった絵によって、永久に後世に伝え

ることができるでしょう。

市民

街角を絵筆に残す
徳見七郎さん
(白石一丁目)



街角を絵筆に残す
徳見七郎さん
(白石一丁目)

祇園祭りなどの風俗を屏風に描いています」と話される徳見七郎さんは、小さい時から絵が好きで、日本画、洋画、版画、ローケッ染なんでもやられるという。祇園祭りを描くときは、神主やお年寄りに古い話を聞いてまわり、形式を正しく描くことに苦労がつたそうです。

近頃は山口の街角をテーマに、この二年間で山口の町々を二百数十枚もスケッチされました。旧街道・路地裏・老舗（しにせ）など、氣ずかぬ内に全く変てしまっていることが多いが、これらのものも

徳見さんの愛情のこもった絵によって、永久に後世に伝え

ことができるでしょう。



昭和55年2月1日



(ユリカモメ)

寒の禽浜にぎやかに波返る

一笑比古一

暦の上では、5日の立春から春に入りますが、まだまだ寒さは残ります。寒いととかく家の中にこもりがちですが、春の活動に備えて、しっかり計画をたてておきましょう。

-2月のこよみ-

■成人病予防週間 1日から1週間。成人病は、初期のうちは自覚症状のないままに進行するケースが多く、手遅れにならないよう予防についての正しい知識をもち、年に1回か2回定期的に健康診断を受けることが必要です。

■節分 4日。節分は季節のかわりめで、陰と陽とが対立し、邪氣を生じ災禍をもたらすといわれます。古くからこれを追い払う行事として「福は内、鬼は外」と声高く叫びながら豆をまく「豆まき」が行われています。

■立春 5日。この頃から、春めく頃となって、空の色もみずみずしく明るくなります。また、八十八夜や二百十日は、この日が起点となっています。

■建国記念日 11日。建国をしのび、国を愛し、国の発展を期する国民の祝日です。昭和41年12月9日に制定されました。

■高倉荒神祭 28日。ふつう「平川の荒神さま」といわれ、農業の神様として近郊からの人出でにぎわい、当日は農機具展や植木市もあります。

• 8日 鈎供養 • 28日から 春の全国火災予防運動

やまぐち357昭和五十三年四月古熊一丁
目、古熊神社下の閑静な地に

施設

柔劍道場

市営として初めて完成した市民柔劍道場は、平家建て、百三十坪の道場と更衣室、便所を備えています。

市内の武道爱好者を育てるためには建設されたもので、これを利用して柔道・剣道・スポーツ少年団や居合道、空手などの練習が行われています。

同館の利用は、市教委体育課へ申し込み、許可証を受けることが必要、少年の場合は指導者がいります。使用料は時間などによって異なります。

△職員の声△
市民のための施設です。多く利用ください。また武道は礼儀を重視するスポーツです。使用したあとの整理整頓とんや掃除をお願いします。

文化財にふれること 愛郷につながる

これら文化財の保存は、文化財が一旦失ってしまえば、取り返すことができない財産であるため、特別な配慮がなされています。特に、消防法の規定が強化される中において、防火施設

の増設や周辺環境の整備、また土木建設事業に伴う遺跡の発掘調査など、急を要する事業が山積しています。

しかし、現状では一部の人を除いて、全般的には、まだまだ文化財への関心は薄いようで、保存行政の上では、この理解と関心が強く望まれています。

されており、未指定の文化財の中にも、貴重なもののが残されている

ことが想定されます。

文化財の歴史的価値はある面では、専門家の判断を待たなければなりませんが、隠れた貴重な文化財があることも考え、その保存と活用をはかることが

愛護に欠かせないことです。

これら施設はいずれも、文化財をよりよく知つてもらうため

の施設であり、文化財学習の場として活用が待たれています。

× ×

市では「山口郷土読本」「山

口ところどころ」「山口ものがたり」など、郷土の手引き書を

二百円・五百円で発売してお

り、書物を通して文化財を知る

ことは、文化財愛護への貴重な

第一歩といえます。

× ×

今年の八月末の完成をめざして

建設中です。

これら施設はいずれも、文化

財をよりよく知つてもらうため

の施設であり、文化財学習の場

として活用が待たれています。

× ×

秋穂二島称宜部落（河野近

晴会長・八十四戸）は、昨年

公会堂を改築しました。

このとき、旧秋穂二島出張所にあった玄関（写真）をも

らうけ併設しました。この

玄関は、地区の古老の話しだ

と、小郡代官所の玄関だった

もので、明治三十五年村役場

が新築されたとき、もらいう

所にあった玄関（写真）をも

らうけ併設しました。この

玄関は、地区の古老の話しだ

と、小郡代官所の玄関だった

もので、明治三十五年村役場

が新

「不用品活用銀行」発足から五ヶ月

山口市では、昨年八月から市役所商工観光課内に「不用品活用登録銀行」を開設しています。この銀行は、家庭や事業所などで不用ととなった家具や学用器具などを入用の人々に譲り受けするものです。

発足以来、昨年末までに、譲りたいと登録した件数は九十三件、欲しいと十三件が成立しています。

提供者が指定する価格は安く、また譲って欲しい人の希望でよい、という

人も多く、すばり台千円、自転車六千円、石油ストーブ一万円、ミシン五千

円など市販価格の五分の一から十分の一の価格で必要なものを入手した人もあり、譲り受けた人に大変よろこばれたり、譲り受けようとする人は、譲りたい人の登録品が吹き込んである応答電話(5)4141をきいたり、ほし

みのタネで、銀行の知名度、利用度はなど子供用品の需要者が多く登録されています。

銀行では、譲りたい人、買いたい人の台帳が整備されており、双方の希望が合うときは、両方に通知し、両者の責任で取り引きする仕組みです。

取扱い品目は、生活用品を中心で家具、軽車両、楽器、テレビなどを除く電化製品などです。

「銀行」では、この制度を活用し、不用になったものほどしきとして登録をし、資源の節約と消費生活上の利便を提供しあつて欲しいと呼びかけています。

これから、卒業進学、転勤などのシーザンです。

この不用品活用登録銀行のことを必ず思い出してください。

この台帳に登録をして、生活の合理化に役立てませんか。

まだまだといった現状です。

留守家庭児童学級 入級児を募集します

留守家庭児童学級は、両親が共働きや、母子・父子家庭で、下校後、ほかに生活指導をする人のい

ない小学一・二・三年生を下校時

から午後五時頃まであずかり、生

活指導をするものです。

生を募集します。

募集人員はいずれも若

干名、二月十八日から二

十九日までに市福祉セン

ター備え付けの所定の申

込書で、同センターへ。

なお、育成料は、月千

三百円です。

このことのくわしいこ

とは、同センター電二

七一二二へ。

申込書で、同センターへ。

なお、育成料は、月千

三百円です。

このことのくわしいこ

(7)



△ 千八百余人在が大人の仲間入り
成人の日、市民会館で市成人式が行われ、参加した約千人の新成人の新しい門出が祝福されました。



△ 書き初めをみんなで焼く

平川子ども会の「どんど焼き」が一月十三日同小運動場で開かれ、持ちよった輪飾りや書き初めを焼き、昔ながらの行事を楽しみました。



△ 竹細工に親子二百人が参加
一月二十日、吉敷で子供竹細工会が開かれ、三百人の親子が小学校講堂いっぱいに、竹馬、竹とんぼづくりに没頭しました。



カルメラボ

△ 小雪の中で記録に挑戦



(小学生のスタート)



(ラストスパート)

△ 新春献血に百二十人

一月四日、佐山地区健康対策協議会の呼びかけで献血を実施、百二十人が献血しました。

△ 小雪の中で記録に挑戦

小雪の舞つた一月十五日、市民ロード

レース大会が開かれ、参加者は四百人。

小学生・女子など八種目に分かれ、各自

が記録に挑戦しました。

「基本的人権と同和問題」については、人権擁護委員という立場から、日頃の事例をとおして同和問題とのかかわりを説明いただきました。

「市民的権利と同和問題」の講座では、主に今年度は、映画『コスマスの咲く町』を利用し、市民生活と同和問題について具体的な手がかりを得ることができました。

「地域活動と同和問題」においては、文部省同和教育地

市民同和教育研修講座
を終わって

昭和五十四年度市民同和教育研修講座は、市民の古いもののお話から、大人の古いものの考え方方が、どれだけ子供の成長をゆがませているのか、同和教育を進める中で明らかになったことを、研究データーをもとにお示しいただき、たいへん考えさせるものがありました。

「部落差別の現状と国民的課題」の講座では、戦後の同和問題解決の歩みの中で、同和問題に対する市民意識がどのように変化していくかの指摘をいたたき、これを支える条件についても、いろいろ説明をいただきました。

同和問題解決への一

番たいたいせつなことは市民の同和問題の理解と連携だと思います。



同和問題を考える

以上講座内容の概略をお示しました。

毎年実施しています

市民同和教育研修講座は、回を重ねることに講座内容が充実してまいりました。

しかし、受講生の皆さんのが声は、

「参加者が少いではないか」ということです。

今年度は、各職場から指導的立場の人びとが参加されました。が、今後は、各地域での社会教育推進者的人に、大いに参加していただきたいと期

■不燃物の収集日■

出張所地区

- 2月 平川13日、大内15日、小鰐18日
吉敷19日、大歳21日、仁保26日、宮野28日
- 3月 嘉川3日、佐山4日、陶・鉄鋸司5日、名田島・秋穂二島6日

防火ポスター・習字

入選作さる

昨年の秋の火災予防運動行事として市内の小・中学生から募集した防火ポスター、習字は、ポスター1,147点、習字852点の応募があり、審査の結果、次の人に入選し、1月16日消防本部で市長表彰が行われました。

この作品は、春の火災予防運動中、市役所などに展示されます。

<防火ポスター>

(小学校)

△国本俊行(白石4年) △岡村潤美(興進5年) △能野礼児・岡阿由美(以上白石6年) △前田直哉(鉄鋸司6年)
(中学校)

△吉村由紀子・作田俊一(以上白石2年)
△三輪ひろみ・豊島菊一(以上白石3年)
<習字>

(小学校)

△亀井美江(陶3年) △丸山久美子(二島4年) △山本典子(宮野6年) △山根文雄・中野正和(以上陶6年)
(中学校)

△重富優子(潟上1年) △弥源治詳子(付属2年) △重富悦子・亀井八重子(以上潟上2年) △田村恭子(潟上3年)

2月11日に

県建国記念日奉祝大会

- 主催 県建国記念日奉祝会
- 奉祝祭典 午前9時から山口大神宮
- 日の丸行進 午前9時20分山口大神宮出発、市中行進
- 祝賀式 午前10時30分から山口市民会館

国際進学ローン

融資申し込み受け付け中

高校、大学などの進学に必要な入学金や授業料、受験費用など進学に必要な資金を融資する国の制度が昨年から発足、その申し込み4月末まで受け付けています。

融資額は、1世帯あたり50万円以内、利率は年8.2%、貸付期間は進学する修学年限、担保は不要ですが、保証人1人以上、返済方法は毎月元利均等で、ボーナス月増額返済もできます。

相談や申し込みは、国民金融公庫山口支店電2-3660か、銀行・信用金庫・労働金庫・農協などの取扱い金融機関へ。



寒さに負けず元気で勉強する小学生。
新1年生も仲間入りはもうすぐです。

宮野に4月に完成の県営住宅
(第一種、中層耐火構造五階建て、六戸、六戸、四・五戸(洋間)、台所兼食堂、浴室、便所)の入居者を募集します。入居資格は、県内に住所または勤務場所があり、住宅に困窮している人、また、同居親族がある人で、所得が一定以下の人です。